

聖書  
テーマ  
暗唱聖句

使徒16・25～34  
信仰による救い  
主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます 使徒16・31  
主イエスを信じて、救いを頂く者となる。

目標

7月7日(日)

聖書  
聖句

使徒16・31  
主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます。 31節

「お友だちのあんなとこがきれい」「家族のあれやこれが直ればいいのに」と、自分のまわりを見ては考えてしまう人はいませんか？

でも、よく考えてみたら、自分の心の中は見えてないかもね！ウソをついたり、人を傷つけたり、わがままな自分でも、まるごと愛してくれて、罪の身代わりに十字架について死んでくださったイエス様を見て！そんなイエス様があなたと一緒に歩いてくださるなら、まずあなたの心や生き方が変わり、周りの人たちに伝わっていくの！イエス様を信じましょう！そうしたらあなたも、あなたの家族も救われます！

祈り

天のお父様、まずはわたしから、イエス様に変えられ、救われたいです。

7月8日(月)

聖書  
聖句

使徒16・25  
真夜中ごろ、パウロとシラスとは、神に祈り、さんびを歌い続けた 25節

イエス様のためにはたらいだためにムチであつたれ、ろうやに入れられてしまったパウロたち。本当だったら、痛いしつらいし、元気もでないはずだね。でも、パウロたちはそんなときでも神様を賛美し続けたって！

もうだめだ！と思うとき、自分の力じゃどうにもできないとき、あなたはどうしますか？心が下を向いちやって、もうイエス様を信じるのをあきらめる？じゃあ、パウロたちを見て！

パウロたちの信仰は、あきらめない！行きづまらないんだ！そういう人を神様は助け出してくださいるんだよ。

祈り

天のお父様、あきらめたり、行きづまったりしないで、イエス様を信じます。

7月9日(火)

聖書  
聖句

使徒16・25  
囚人たちは耳をすまして聞きいていた。 25節

夜のくらい中で、パウロたちが賛美すると、あらフシギ！悪いことをして捕まった人たちもじ〜っとその賛美を聞いていたんだって。しかも、だれも「うるせ〜バカヤロウ」なんて言わないで、心から聞いてたって！

賛美ができるってすばらしいね！縄でしばられ、くさりにつながれて身動きがとれなくても、だれもイエス様を信じる心や口をしばることはできないんだ。そして、どんなときもイエス様を見あげて賛美するなら、罪の中で苦しんでいる人たちにも、イエス様のすばらしさが伝わっていくんだよ。

祈り

天のお父様、どんなときも賛美して、お友だちや家族にもイエス様のすばらしさを伝えていけますように。

# 7月10日（水）

聖書  
聖句

使徒16・26

ところが突然、大地震が起きて、獄の土台が揺れ動き、戸は全部たちまち開いて、みんなの者の鎖が解けてしまった。 26節

もし、あなたがろうやの中にいて鎖につながれていたのに、突然こんなことが起きたらどう思うでしょう！神様の力ってすごい！と思うだけでなく、今まで神様を信じないで生きてきたこと、自分が罪人であることを考えると、なんだかおそろしくなってくるかもしれません。

でも、「突然」神様がパウロたちのお祈りと賛美にこたえて鎖を解いてくださったように、神様は、イエス様の十字架を信じるなら、あなたがしばらく苦しんでいる罪の鎖でも、あつという間に解いてくださるお方です。

いの祈り 天のお父様、イエス様を信じるなら、どんな罪の鎖からも一瞬で助けてくださることを信じます。

# 7月11日（木）

聖書  
聖句

使徒16・27～28

われわれは皆ひとり残らず、ここに いる。 28節

ろうやにいた人たちの鎖が解け、戸があいてしまったとき、みんないつせいに「にげろ～」って出ていったのではありませんでした。もしにげたら、こんどはろうやの番をしていた人が死刑にされるか、自殺するところです。でも、パウロたちだけでなく、罪をおかしてろうやに入れられた人もみんなそこにいたんだって！

パウロたちのお祈りや賛美で、神様がどんなお方か、聞いていただけて、ろうやが開いたとき、お祈りにこたえてくださることもわかったんだね。パウロたちは入りたくてろうやに入ったんじゃないけど、そこにいる人たちのためにも神様は用いてくださったよ。

いの祈り 天のお父様、どんな場所でもあなたを信じる人を用いてくださることを感謝します。

# 7月12日（金）

聖書  
聖句

使徒16・29～30

わたしは救われるために、何をすべきでしょうか。 30節

あなたは、心から「わたしは救われなければならない！」と思ったことはありますか？いつも、まちがっている罪がある人は「自分じゃない誰か」だと、心のどこかで「わたしは正しいはず」だと、思っていますか？

この獄吏もきっと同じだったよね。自分は、「罪人をろうやに入れる正しい人間」だと思っていたよね？でも、本当は「罪人は自分、まちがっていたのは自分」だったことを神様は気づかせてくれたんだ！すごい！

神様は、そんな人たちのためにも救いを用意してくださるんだね！

いの祈り 天のお父様、自分は正しいと思っている人でも、罪があることをわからせてくださり、救ってくださることを感謝します。

# 7月13日（土）

聖書  
聖句

使徒16・31～34

神を信じる者となったことを、全家族と共に心から喜んだ。 34節

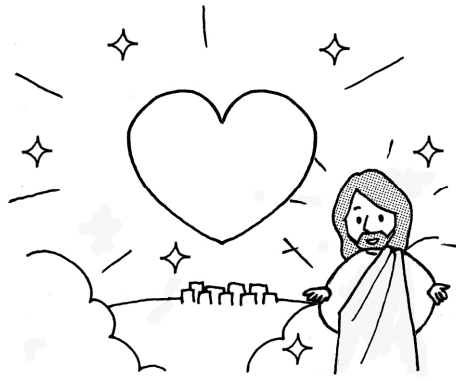
本当の救い、本当の喜びはどこから来るのでしょうか？いろいろがんばって手に入れるものですか？いい子にしていたらやってくるの？

いいえ、救いは真の神様を信じ、イエス様を信じるときにやってくるのです。あなたの心のおくの罪は、どんながんばりでも、どんな良いことでも消えないし、そこには救いはないの。

イエス様は、あなたの罪の身代わりに十字架で死んでくださった、たった一人のお方。

このイエス様を信じる時、本当の救い、本物の喜びをもらうことができるんだよ。イエス様を信じて心から喜べるあなたでいてね！

いの祈り 天のお父様、イエス様を信じるなら、本当の喜びと救いをいただけることを感謝します。わたしもイエス様を信じます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

黙示録21・22～22・5

聖なる都  
神の栄光が都を明るくし、子羊が都のあかりだからである。  
黙示録21・23

目標

キリストを信じて、永遠の都に入る者となる。

7月14日(日)

聖書  
聖句

黙示録21・23

神の栄光が都を明るくし、小羊が都のあかりだからである。 23節

「おわり」ときくと、なんだかさびしく、かなしく、つらい気持ちになる人はいますか？聖書も、せかいの「おわり」をおしえているね。

でも、このおわりは新しい、えいえんのせかいの「はじまり」なんだって！そこには、罪も、くらやみも、悪魔も、くるしみや涙もなく、ただ、きよい神様と、イエス様と、えいえんのいのちをもらった人たちだけがいるんだって。

あたらしいせかいに行くかどうかは、あなたもきめられるよ。それは、イエス様が十字架で、あなたの罪のみがわりになって、死んでよみがえられたことを信じ、いつもイエス様といっしょに生きていくことによるのです！

祈り

天のお父様、イエス様の十字架とよみがえりを信じて新しいせかいに行きます。

7月15日(月)

聖書  
聖句

黙示録21・22

全能者にして主なる神と子羊とが、その聖所なのである。 22節

目には見えないけれど、わたしたちを愛し、守り、いっしょにいてくださる神様！そんな神様と、あなたは毎日お話をしていますか？また、どうやってお話をしていますか？

お祈りの中で聖書をよむとき？賛美するとき？それから教会に行くときは、神様のところへ行ったような気持ちになるよね。

でもね、神様の新しいせかいが来ると、教会なんてないんだって。だって、神様がそこにいて、えいえんに神様のところにいられるから。神様の目の前で礼拝し、お話できるなんて、すごいことだね！

祈り

天のお父様、あなたの新しいせかいで、あなたの近くにえいえんにいられる日が早く来ますように。

7月16日(火)

聖書  
聖句

黙示録21・24～26

人々は、諸国民の光栄とほまれとをそこに携えて来る。 26節

神様のところにはどんな人たちがやってくるのでしょうか？むかしは、イスラエルの人たちだけ救われて神様のところに行くって思われてたんだ。でもね、イエス様が地上に来てくださって何もかもが変わったのです。何もかも！

どのせかいに住んでいる人も、どんな生き方をしてきた人も、罪の中で苦しんでいた人も、罪をおわびし、イエス様の十字架を信じて、心を通じ、神様の方に向けて生きるとき、いつかやってくる新しいせかいへ、むねをはって「わたしは救われました！」とやってくるができるのです。そうできる道を開いてくださったイエス様の救いはなんてすばらしいんでしょうね！

祈り

天のお父様、イエス様といっしょに、心をあなたに向けてあゆみます。

# 7月17日（水）

聖書  
聖句

黙示録21・25

都の門は、終日、閉ざされること  
はない。 25節

あなたのおうちでは、夜ねむるときや、ひとり  
でるすばんをするとき、げんかんのカギをガ  
チャン！とかけますか？ それはなんで？ それ  
は、外には悪い人やどろぼうがいて、おうちに  
入ってきたらたいへんだからだよ！ でも、神  
様の新しいせかいはいつも門が開いたまん  
まって！ え～だいじょうぶなのかなあ？

そう、新しいせかいがやってきたとき、悪魔  
も、わたしたちがこわがるものもぜんぶ、神様が  
処分してくださってるんだって。そのときには、  
わたしたちの心の中にまで入ってきていた  
悪魔や罪ともたたかわなくてよいせかいになる  
んだね。神様のご計画のすばらしさ！

祈り 天のお父様、悪魔も、悪いものも、罪もな  
い新しいせかいのご計画を感謝します。

# 7月18日（木）

聖書  
聖句

黙示録21・27

しかし、汚れた者や、忌むべきこと  
及び偽りを行う者は、その中に決  
してはいれない。 27節

学校に行くときには、いつも教科書や運動着  
をもって、忘れ物をしないようにでかけるよ  
ね？ それは、学校に行くならあたりまえのこと  
だからと思うよね？ じゅんぴは大切なんだ。

神様の新しいせかいに行くのにも、大切な  
じゅんぴがあるよ。そこには罪が入っちゃいけ  
ない！これは絶対のこと！神様はあなたを愛し  
ていても、罪があるままでは、迎えられないの！

その罪の心をとる除くためにイエス様は  
十字架で死んでくださったのです。それを信じ  
て、罪の生活を捨てて生きること、これが新し  
いせかいに行くための大切なじゅんぴなのです。

祈り 天のお父様、罪をすてて生きる、という大切  
なじゅんぴをしていきます。

# 7月19日（金）

聖書  
聖句

黙示録22・1～2

その実は毎月みのり、その木の  
葉は諸国民をいやす。 2節

新しい神様のせかいでは、都の真ん中に  
のちの水の川がながれ、川のほとりにはいのち  
の木があるんだって！その川はね、わたしたち  
を造られ、愛し、ゆるし、生かしてくださる、神  
様からながれてくるの。

わたしたちの心や魂は、いつも「わたしを  
愛してくれないかなあ、あの人がわたしに長く  
してくれないかなあ」とカラカラに渴いています。

でも、神様のいのちの水をのみ、その実をた  
べ、そのしげみに憩う人は、心の傷もすっかり  
なおし、神様の愛やゆるしやいのちでいっぱい  
になって、それがえいえんにあふれでるのです。

祈り 天のお父様、その水と実と葉でいやされて、  
あなたのいのちや愛やゆるしでいっぱい  
になる日が、わたしにも来ますように。

# 7月20日（土）

聖書  
聖句

黙示録22・3～5

その僕たちは彼を礼拝し、御顔を  
仰ぎ見るのである。 3～4節

昔の考えでは、神様の顔を見たら、その人は  
死ぬと言われていました。そう、罪のせかいで、  
罪にまみれて生きているわたしたちが、愛と聖  
さしかない神様と顔をあわせるなんてとんでも  
ないこと！それでも、聖書や毎日の生活の中で、  
神様がどんなお方か、すこしずつわかるように  
なってきたね。

でもね、新しいせかいではちがうって！顔と  
顔をあわせて神様に会うって！イエス様によつ  
て罪はぜんぶとりさられ、よろこびいっぱい神  
様を礼拝できるんだ！そのとき、ああ、神様は  
こんなにもすばらしいお方だったんだ、とはっ  
きりわかるようになるだろうね！

祈り 天のお父様、よろこびいっぱいあなたの顔  
を見られる日をまち望みます！



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

目標

列王上 17・1～16

生きて働かれる神

わたしの仕えているイスラエルの神、主は生きておられます。列王上 17・1

生きて働かれる神を信じて、神に仕える者となる。

7月21日（日）

聖書  
聖句

列王上 17・1～7

わたしの仕えているイスラエルの神、主は生きておられます。 1節

天気予報って、たいがい当たるけどたまにはずれたりします。ここに、預言者エリヤがいきなり登場して、「わたしが仕える神は生きておられて、わたしの言葉のない間は、数年雨も露もありませんよ」とアハブ王に言います。数年？何と三年六ヵ月、一滴のおしめりもなかったのです。予報のとおりに！エリヤは神様に養われました。ケリテ川のほとりで、川の水を飲み、驚いたことからすが朝に夕にパンと肉を運んでくれたのです。神様の命令によって。

祈り 天のお父様、エリヤをからすによって養われたあなたは、今も生きて働いてくださいますから感謝します。

7月22日（月）

聖書  
聖句

列王上 16・29～34

オムリの子アハブは彼よりも先にいたすべての者にまさって、主の目の前に悪を行った。 30節

アハブ王というのは、イスラエル最悪の王様でした。偶像を拝むイゼベルという奥さんと結婚して、自分もバアルという偶像を拝むようになってしまいました（だれと結婚するかは、とても大事なことです）。バアルというのは、雨や霧を注いで農業を盛んにする男性の神です。エリヤはこの神に挑戦したのです。アシラ像は、女神の偶像です。こうして国中に偶像の宮や祭壇を作って、まことの神様を怒らせました。神様はエリヤを遣わすことにしたのです。

祈り 天のお父様、あなたが最もお嫌いになるのは偶像です。わたしもあなたより大事にしている偶像はないかチェックします。

7月23日（火）

聖書  
聖句

列王上 17・8～16

主がエリヤによって言われた言葉のように、かめの粉は尽きず、びんの油は絶えなかった。 16節

ちょっと雨が降らないだけでも、水不足で給水制限とかあって困ります。一年も二年も降らないと一体どんなことになるでしょう?! ケリテ川の水もかれてしまいました。エリヤは主の言葉によって、偶像の町シドンのザレパテの、しかもやもめ女の所に遣わされます。よりによって子どもと最後のパンを食べて死のうとしていたのです！ところが生きておられる主の命令どおりにすると、「かめの粉は尽きず、びんの油は絶えなかった」のでした。ワンダフル！

祈り 天のお父様、エリヤや、やもめ女と息子を養い続けられたあなたは、今も生きて、この約束を守ってくださり感謝です。

## 7月24日（水）

聖書  
聖句

列王上17・17～24

主はエリヤの声を聞きいれられたので、その子供の魂はもとに帰って、彼は生きかえった。 22節

あなたも病気になったことがあるでしょう。死ぬかもしれないと思うような重い病気だったでしょうか。このやもめ女の息子は、本当に重い病気です。とうとう死んでしまったのです。母親の手から子どもを取り、エリヤは屋上の部屋の自分のベッドに寝かせて、神様に叫び求めました、「子どもの魂をもとに帰らせてください！」主はエリヤの叫びを聞きいれてくださり、子どもは生きかえりました！何と力あるエリヤの祈りでしょう！祈りに答えてくださる主は生きておられます！

いのちの祈り 天のお父様、エリヤは人間であるのに、その祈りに答えて、死人さえもよみがえらせてあなたの御力をたたえます。

## 7月25日（木）

聖書  
聖句

列王上18・17～29

そして火をもって答える神を神としましょう。 24節

三年以上もの間、かんばつで国中カラカラ。アハブに会って、エリヤはカルメル山での対決をと、バアル、アシラの預言者を集めさせます。八百五十人对エリヤ一人です。たきぎの上に一頭の牛を切り裂いてのせ、「それぞれの神の名を呼びましょう。火をつけていないその牛に、天からの火を降す神を神としましょう」と言いました。まず、バアルの預言者たちからです。「バアルよ、答えてください」と。しかし応答なし。踊ったり血を流したりしても答えなし。バアルは眠っているのか？

いのちの祈り 天のお父様、バアルからは何の答えもありませんでした。人がつくりあげた死んだ偶像だとわかりました。

## 7月26日（金）

聖書  
聖句

列王上18・30～40

民は皆見て、ひれ伏して言った、「主が神である。主が神である」。 39節

びっしょりぬれた紙にどんなにマッチで火をつけようとしてもジュンと火が消えてしまうでしょう？ところがです。さあ、エリヤの番になりました。ヤコブの子らの部族の数、十二個の石で祭壇を築き、その周囲にみぞを作り、たきぎと牛を切り裂いてのせ、かめ十二杯分の水をザアザアかけました。夕の供え物の時間になって、エリヤの祈り、「主よ、あなたが神であると知らせてください」。その時です、主の火が降り、すべてを焼き尽くし、民がひれ伏し叫びました。

いのちの祈り 天のお父様、まことに、「火をもって答えられたあなたこそが神です」と、わたしも心から一緒に叫べて感謝です。

## 7月27日（土）

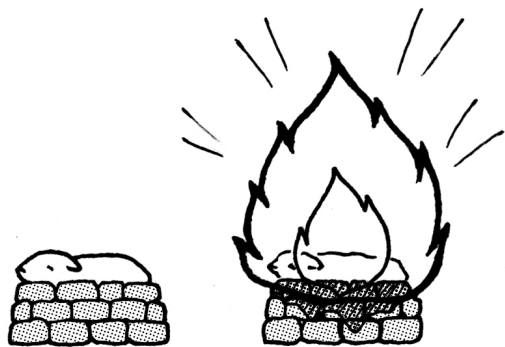
聖書  
聖句

列王上18・41～46

七度目にしもべは言った、「海から人の手ほどの小さな雲が起ります」。 44節

「大雨の音がするから、上って行って、食い飲みしなさい」とエリヤに言われて、さすがにアハブは言われたとおりにしました。しかしエリヤはカルメル山頂に登り、祈りに入りました。地に伏して顔をひざの間にに入れるとは、祈りの姿勢です。忍耐強い祈り、見るまであきらめない祈りでした。しもべは海に見える所に上って見ます、何回も行ったり来たり…ついに七度目に「人の手ほどの小さな雲」が見えたと思うと、まもなく大雨となりました！

いのちの祈り 天のお父様、わたしと同じ人間のエリヤの祈りに答えられたあなたが、今もわたしの祈りに答えてくださると信じます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

列王上18・20～40  
神のための戦い  
火をもって答える神を神と  
しましょう。 列王上18・24

目標

神のために信仰をもって戦う  
ものとなる。

7月28日(日)

聖書  
聖句

列王上18・20～40  
火をもって答える神を神としま  
しょう。 24節

850人、対、ひとり！ ヒヤア！ それはひとり  
が負けるに決まってるよと思いますか？ バア  
ルやアシラというニセの神様を拝む850人、対、  
生きているまことの神を信じて仕えるひとり、  
エリヤとなると？ 話はガラリと変わります。  
祈りに答えて、天からの火を祭壇に呼び下す神  
こそ、まことの神としましょうと、いざ、対決！  
バアルの神はウンともスンとも答えてくれませ  
ん。しかし、エリヤの祈りに神様は答えて、天か  
らの火が降ったのでした。

祈り 天のお父様、エリヤの祈りに答えられたあ  
なたこそまことの神です。わたしもあなた  
をまことの神と信じています。

7月29日(月)

聖書  
聖句

列王上18・20～24  
あなたがたはいつまで二つのもの  
の間に迷っているのですか。主が  
神ならばそれに従いなさい。 21節

バアルの預言者は450人もいます。主の預言者  
はエリヤひとりです。やっぱり、たくさんの方が  
信じているバアルの方が神様なんじゃない？  
なんて考えてしまいますか？ では、それぞれの  
神の名を呼んで、火をもって答える神を神と  
しましょうということになりました。もしかして、  
わたしたちも二つのものの間に迷ったりし  
ていませんか？ 日曜日の朝、みんなは海や山へ  
遊びに行っている。どうしよう？ イエス様を信  
じるわたしたちは、迷わず教会学校へ！

祈り 天のお父様、あなたを一心に信じて求める  
のを邪魔するものの間で迷うことがない  
ように、お守ください。

7月30日(火)

聖書  
聖句

列王上18・25～29  
しかしなんの声もなく、答える者も  
なく、また顧みる者もなかった。  
29節

ではまずは、バアルの預言者たちからスター  
ト！ 牛を祭壇の上に置いて、火をつけないで、  
神の名を呼びました。「バアルよ、答えてくださ  
い」と、朝から昼まで呼んでも何の答えもなし  
です。まわりを踊ってもダメ。エリヤはあざけ  
ります、「え!? 考 えにふけてる？ 旅行中？  
爆睡中？」バアルの預言者たちは大声で叫び、  
刀とやりで身を傷つけ血を流しました！それで  
もノー・アンサー。なぜって、バアルはニセの神  
で、死んだ偶像ですから当たり前です。

祈り 天のお父様、ニセモノの神バアルがいかに  
死んだ頼りにならないものであるのかが、  
よくわかりました。

## 7月31日(水)

聖書  
聖句

列王上 18・30~35

彼はこわれている主の祭壇を繕った。  
30節

バアルの預言者たちは、さんざんな目に合いましたね。ニセの神に従うとこうなるのです。さあ!エルヤの番です。エリヤは一番に、こわれている主の祭壇をきちんと整えました。ヤコブの子らの部族の数、12の石で、主の名によって祭壇を築きました。周囲にみぞを作り、たきぎと牛をのせ、何とその上に4つのかめに水を満たしたものを注ぎました。ザアーツザアーツと3度もしたので祭壇は水浸し、みぞまで、水がいっぱいになりましたよ!!

祈り 天のお父様、エリヤのように、わたしもお祈りの祭壇をきちんと整えて、あなたに祈り、答えを待ち望みます。

## 8月1日(木)

聖書  
聖句

列王上 18・36~37

主よ、わたしに答えてください。わたしに答えてください。  
37節

先祖アブラハム、イサク、ヤコブを祝福されたイスラエルの神に、エリヤは、まっすぐに、迫ってお祈りします。「あなたこそが神であることを、この人々すべてに知らせてください。わたしがあなたのしもべで、あなたの言葉に従ってやっているのだということをハッキリと教えてください。主よ、わたしにも答えてください」と。わたしたちも、こんなエリヤのようなお祈りがしたいですね。きっと神様だって、黙ってはいられないと思いませんか?!

祈り 天のお父様、エリヤのお祈りには力がこもっています。わたしもエリヤのようにあなたに迫って祈りたいです。

## 8月2日(金)

聖書  
聖句

列王上 18・38~40

民は皆見て、ひれ伏して言った、「主が神である。主が神である」。  
39節

『そのとき』です! な、な、な一んと、主の火が下ったのです! そして、燔祭を焼きつくし、たきぎももちろん焼きつくし、しかも、石もちりも焼きつくし、さらにはみぞの水をもなめつくしたではありませんか。人々は皆それを見て、ひれ伏して叫びましたよ。「主が神である。主が神である」と。イスラエルの神、アブラハム、イサク、ヤコブの神、エリヤの神の勝利! 火をもって天から答えられたのはこの神でした。バアルの神はニセモノです。

祈り 天のお父様、誰の目にも、この時ばかりはあなたこそまことの神とわかりました。今も永遠までもそうです。

## 8月3日(土)

聖書  
聖句

ヤコブ 5・13~18

義人の祈は、大いに力があり、効果のあるものである。  
16節

「エリヤは、わたしたちと同じ人間であつたが」(17)とあります。そうなのです。エリヤは人間でしたが、信仰と祈りの人だったのですね。神様のみ言葉を信じて、お祈りして、雨をとどめたり、降らせたりしたのでした。そして、カルメル山でもお祈りで勝負し、みごとに勝利しました。神様を信じるわたしたちに与えられているすごい武器が、「み言葉とお祈り」ですよ。さあ、わたしたちもみ言葉をしっかりと握り、信仰のお祈りで勝利しよう!

祈り 天のお父様、あなたに對抗したり敵対する力の多い中、み言葉とお祈りであなたのために戦わせてください。





聖書  
テーマ  
暗唱聖句

列王下5・1～14

大勇士の癒し  
身を洗って清くなれ

列王下5・13

目標

隠れた内面的な悩みのために  
神の解決を頂く。

8月4日(日)

聖書  
聖句

列王下5・1～14

身を洗って清くなれ

13節

誰にも言えない心の中の悩み。お父さんにも、お母さんにも兄弟たちにも、学校の先生にもどの友だちにも言えない…。神様だけは、ちやあんとご存知、そして、神様だけが、その悩みをきっちり解決してくださるのです。ナアマン大將のようにね。表面は立派だったナアマンの悩みは、恐ろしい重い皮膚病にかかっていたこと！不思議な導きで、神の人エリシャのことを知り、え!? と思うような方法で、すっかり癒され、清くされましたね。

いの祈り

天のお父様、すべてを知っていてくださるあなたのおっしゃるとおりにすれば悩みが解決されると信じます。

8月5日(月)

聖書  
聖句

列王下5・1

彼は「大勇士」であったが、重い皮膚病をわずらっていた。 1節

カッコいいネ! 「大勇士ナアマン!」 王の軍勢の長だし、主君からは、「ナアマン、ナアマン」って、大切にされたし、素晴らしいことに、神様に助けられ、用いられて、スリヤの国に勝利を勝ち取った、まさに「大勇士」だって、晴れやかな勝利の行進をして、人々からほめられたでしょう。ところが、人には言えない隠れた悩みをかかえて悩んでいたのです! それは服の下に重い皮膚病がありました。

いの祈り

天のお父様、外側が立派に見えても、内側にある悩みはこまります。あなたは知っていてくださるので感謝です。

8月6日(火)

聖書  
聖句

列王下5・2～5a

ああ 御主人がサマリヤにいる預言者と共におられたらよかったでしょうに。 3節

すべてを知っていてくださる神様は、ナアマンの悩みもよくわかっておられました。神様はナアマンの悩みを解決してあげたいと、働きかけてくださいました。そこにイスラエルから捕えられてきたひとりの少女が用いられたのです。彼女はナアマンの奥さんにお仕えたのでナアマンの悩みを知りました。そして、預言者エリシャのことを話し、ご主人様がこの方と共におられたらよかったのに、きっと病をいやしてくださいますと言ったのです。

いの祈り

天のお父様、あなたはナアマンのために少女を用いられました。幼くてもあなたに用いられるのは喜びです。

## 8月7日（水）

聖書  
聖句

列王下5b～7

わたしは殺したり、生かしたりする  
ことができる神であろうか。 7節

わらにもすがりたいような悩む心のナアマンでしたから、さっそくに主君スリヤ王に伝えました。王はイスラエル王への手紙を持たせてくれました。たくさんの贈り物と共に、その手紙をイスラエルの王に見せると…「ナアマンの病をいやしていただくためです」と読んでイスラエルの王は衣を裂いて言いました、「この病の人をいやせと?」とんでもない、わたしはそれができる神ではないと。そうです、一国の王だって皮膚病をいやせないのですね。

いの  
祈り

天のお父様、イスラエルの王のショックが  
伝わってきます。本当のいやし主は、あなた  
の他にはありません。

## 8月8日（木）

聖書  
聖句

列王下5・8～10

あなたはヨルダンへ行って七たび  
身を洗いなさい。 10節

悩むナアマン、悩むイスラエルの王、悩む人ばかりですね。そこに、そのことを聞きつけた、神の人エリシャの登場です。「彼をわたしのもとにこさせなさい」と王に人をつかわして言いました。ナアマンは馬と車とを従えてきて、エリシャの家の入口に立ちました。すると使いの者がエリシャの言葉を伝えたのです。「ヨルダンで7たび身を洗えば肉はもとにかえり清くなります」。何てわかりやすく、しやすいことでしょう! 神様らしい解決です。

いの  
祈り

天のお父様、あなたのご命令や、解決法は決  
して、困難だったり、従いにくいものでは  
ないのでホッとします。

## 8月9日（金）

聖書  
聖句

列王下5・11～12

こうして彼は身をめぐらし、怒って  
去った。 12節

トコロガ、ドッコイ! ナアマン大將は腹を立てて、怒りながら去っていったのです。ドーシテ? ナアマンはこう考えていました。「エリシャが出てきて、主の名を呼び、手を置いて動かしていやすのだらう」と。「のだらうと思った」というのが問題ですよ。しかも、自分の国のアバナやパルパル川の方がよほどいい川水だね。ですから使者が出て来て、告げた言葉など、そっちのけで彼は怒り去りました。自分の考えは神様の解決の邪魔をします。

いの  
祈り

天のお父様、いつでもあなたの言われること  
を素直に聞いて従うことのできるやわ  
らかい耳と心をください。

## 8月10日（土）

聖書  
聖句

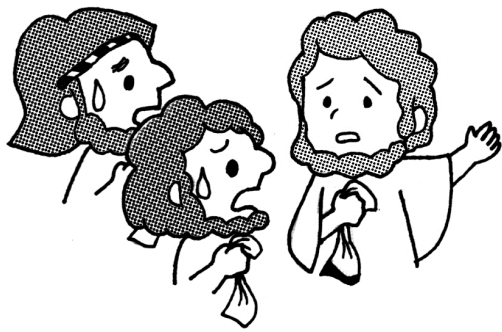
列王下5・13～14

まして彼はあなたに「身を洗って清  
くなれ」と言うだけではありませ  
んか。 13節

よい先輩、よい主人、よい奥さん、よい子ども、ここでは、よいしもべを与えられている人はしあわせですよ。しもべたちの心の方がよほど神様に近く、喜ばれる心だったのです。ナアマンを納得させました。「なおりたいのでしょう!? むずかしいことをいわれてもやったでしょう? まして彼は『身を洗って清くなれ』と言うだけです」と。恥をしので、神の人の言うとおりに裸になって7たび川に身を浸すと、肉は幼な子のようになり清くなりました!

いの  
祈り

天のお父様、ナアマンの悩みはみごとに消  
え去り、身も心も晴れやかにあなたがして  
くださいました。ハレルヤ!



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨナ 1・1～17

神の前を離れて

わたしは海と陸とお造りになった  
天の神、主を恐れる者です。  
ヨナ 1・9

目標

神に背いて歩むことの災いを覚え、  
神に従う者となる。

8月11日(日)

聖書  
聖句

ヨナ 1・9

わたしは海と陸とお造りになった  
天の神、主を恐れる者です。

9節

神様は、神様を信じる人をなんとかして用いたいと思われのお方です。どんなに「え～そんなこといやだよ」とか「あ～と～でっ!」と、なかなか言うことをきこうとしない人であっても、です。

ヨナは神様の言うことをきけなくて神様からにげてしまったの。でも、神様をまだ知らない人の前で「まことの神様を信じています」と言うしかないできごとにあったよ。そうするしかない、というできごとにあわせてでも、神様はヨナを用いたかったんだ。神様はあなたにも、そんなできごとを用意しておられるでしょうね。

祈り

天のお父様、なんとかわたしを用いたいと思うあなたの思いを知りました。

8月12日(月)

聖書  
聖句

ヨナ 1・1～3

しかしヨナは主の前を離れてタルシシへのがれようと、立ってヨッパに下って行った。 3節

神様のこと信じている人! 「は～い!!」  
神様のことだ～いすきな人! 「はいは～い!!」  
じゃあ、神様のためにいちばんだいikirいなあの人を教会にさそえる人! 「うっ…」。

ヨナも神様を信じていたんだ。でもニネベという、罪だらけの町へ神様に行くように言われたとき「うっ…」っとなって、とうとうにげだしちゃったの。行きたくなかったんだね。

あなたはどうか? 「あなたを愛しているよ」といつも言ってくれる神様は、あなたのきらいなあの人にも愛し、神様を信じて変わってほしいと思っているんだよ。にげないでね!

祈り

天のお父様、わたしもヨナと同じです。どうか、にげださない強さをください。

8月13日(火)

聖書  
聖句

ヨナ 1・4～5

時に、主は大風を海の上に起されたので、船が破れるほどの激しい暴風が海の上にあった。

4節

神様はヨナがきらいになったの? いじわるするためにこんなことを? そう思った人はいない? いいえ。神様は、「わたしは悪くない! 正しい!」と自分のかんがえでものごとを決めてしまうヨナに「ちがうよ!」と気づかせたかったのです。

あなたがまちがったことや正しくないことをするとき、罪をおかすとき、神様はあなたをこらしめるかもしれません。それは、あなたが、あなたの決めた道を生きるためではなく、神様の用意された正しい道を生きるためです。

祈り

天のお父様、自分のしていることが本当に正しいか、あなたが教えてください。

## 8月14日（水）



ヨナ 1・6～10

そして彼らが、くじを引いたところ、くじはヨナに当たった。7節

神様のこらしめは、ヨナだけではなく、まわりの人々をまきこんでしまいました。船が嵐にあって大変な中で、まだまことの神様を知らない人々は偶像の神にお祈りしたり、罪人を決めるくじをみんなで引いたりしたのです。

でも、神様はふしぎなお方です。このくじをヨナに当て、ヨナの神様はまことの神様であること、ヨナが神様にしたがわらないでにげたことを、まわりの人に知らせたのです。ヨナだけでなく、そこにいた人みんなが、まことの神様がだれであるかわかり、また神様にしたがう大切さを知ったでしょうね。

**祈り** 天のお父様、いつも、どんな中でも、あなたがどんなお方か、わたしだけでなくみんなに知らせてください。

## 8月15日（木）



ヨナ 1・11～12

この激しい暴風があなたがたに臨んだのは、わたしのせいです。12節

ヨナといっしょに船にのっていたのは、まことの神様を知らない外国の人たちでした。あんなにニネベに行くのをいやがっていたヨナでしたが、この人たちが嵐で苦しんでいるのを見たとき、一つのことをわかったのです。それは、このことが自分の罪のせいだったということ。

そして、ヨナは、この外国の人々を助けるために、自分が海になげこまれることをえらんだのでした。命がけの決心だね。

神様はこの事件の中で、ヨナの罪に気づかせてくれただけでなく、外国の人々のために命をかけるということも教えてくださったのですね。

**祈り** 天のお父様、いろんなことの中であなたにしたがうことを教えてくださり感謝します。

## 8月16日（金）



ヨナ 1・13

しかし人々は船を陸にこぎもどそうとつとめたが、成功しなかった。13節

あなたは、どれくらい神様を信じていますか？また、どれくらい神様にしたがっていますか？人助けや良い行いなら、神様を信じている人でなくてもできます。船にのっている人たちも、まことの神様を信じていたわけではありませんが、いっしょうけんめい、ヨナを助けようと努力してくれました。ヨナは神様からにげてみんなにめいわくをかけているのに！

神様を信じる、という気持ちにごまかしはききませんね。神様の愛や赦しをおこないであらわしてはじめて、神様を信じている人間になれるのですね！

**祈り** 天のお父様、ちゃんとおこないで「信じてること」をあらわせますように。

## 8月17日（土）



ヨナ 1・14～16

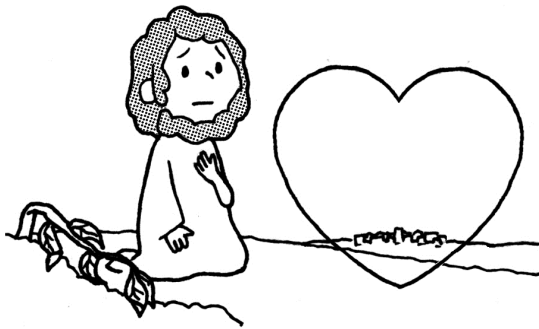
そこで人々は大いに主に恐れ、犠牲を主にささげて、誓願を立てた。16節

神様はとってもふしぎなお方だね！思いもしないようなとき、ところで救いのご計画をすめられるんだから。

ヨナがはじめから神様の言うことを聞いて、ニネベに出かけていたら、この船の人たちと出会うこともなかったよね。さらにこの外国の人たちが、嵐の中でまことの神様を知り、一生神様を信じて従っていくと誓ったことなんて、だれが想像できたでしょう。すごいね！

わたしたちに起こるすべてのできごとの中で、神様は今日も生きてはたらいておられますよ。

**祈り** 天のお父様、わたしがしっばいしても、それをむだにせず、たくさんの人の救いのためにはたらいてくださり感謝します。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨナ書 3・1～4・12  
神の憐みによる宣教  
ましてわたしは十二万あまり  
の、右左をわきまえない人々…  
を、惜しまないでいられようか。  
ヨナ 4・11

目標

神の憐みを覚え、福音を伝える  
者となる。

8月18日(日)

聖書  
聖句

ヨナ 4・11

ましてわたしは十二万あまりの、  
右左をわきまえない人々…を、惜  
しまないでいられようか。

11節

あなたは、いじわるで、らんぼうで、うそば  
かりつくような人のことをどう思いますか？そ  
んな子は地獄に行っても当たりまえだと思う？

でもね、神様はどんなにいじわるで、らんぼ  
うで、うそつきで、人殺しだっするような人間  
であっても、そんなにかんたんに地獄に行っ  
てもいいとは思っていないの。だってこの世界も  
人間も、全部神様のものだから！どんな人にも、  
罪を悔い改め、新しく神様の喜ぶ人生を生き  
なおすチャンスを、用意しているんだよ。

いの  
祈り

天のお父様、あなたの愛と憐みで、どんな  
人でも、罪を悔い改めて、あなたの喜ぶ人  
生を生きなおせることを感謝します。

8月19日(月)

聖書  
聖句

ヨナ 3・1～2

時に主の言葉は再びヨナに臨  
んで言った、 1節

神様の言うことを聞かないでにげたヨナを、  
神様は見すてたでしょうか？ほかの人を代わり  
に使うからもうヨナなんていらなうと言いま  
したか？いいえ。ヨナを大きな魚のおなかの中  
で守り、生きて地上にもどされただけでなく、も  
ういちど、あのニネベに行くようにと言っ  
てくださったのです！

わたしたちは、神様のためにはたらく力も  
資格もないし、しっぱいばかりでだめだと思  
うかもしれません。でも、人間のそんなことは神  
様には問題じゃないんだね。神様が選んだ人だ  
もの。ちゃんと神様に心を向けて従えるよう  
にしてくださいるんだね。神様の選びはすごい！！

いの  
祈り

天のお父様、わたしたちを選び、見すてな  
いで用いてくださり感謝します。

8月20日(火)

聖書  
聖句

ヨナ 3・3～4

そこでヨナは主の言葉に従い、  
立って、ニネベに行った。3節

こんどのヨナはにげなかったよ！  
きつとニネベの町に行くのは一人じゃこわかつ  
たでしょうね。でも、だれよりも何よりも強い  
神様がヨナをニネベに行かせるのです。だから  
大丈夫！ぜったいに！

ニネベの町を歩いてまわるのはとても大変な  
ことでした。だって、すごく大きな町だから。  
いろいろ言いたいこともあったかもしれません。  
でも、文句は言いません。ただ、神様の命じる  
言葉だけをそのまま伝えればいいのです。

わたしたちもそう。神様をそのまま信じ、神  
様の言葉にそのまま従い、神様の言葉をそのま  
ま伝えればいいのです！

いの  
祈り

天のお父様、あなたをそのまま信じ、従い、  
あなたの言葉をそのまま伝えます。

## 8月21日（水）



ヨナ 3・5～9

そこでニネベの人々は神を信じ、  
断食をふれ、大きい者から小さい者まで荒布を着た。 5節

ヨナがニネベに神様の言葉を伝えたとき、なんとニネベの人たちは、たった一回神様の言葉を聞いただけで、みんなすぐに神様を信じ、今までの罪と悪とを神様におわびしたのです！

あなたはどうでしょう？「神様信じてる！み言葉？は～いわかった～OK！」なんて言いながら、じつはぜ～んぜん心に神様の言葉がとどいていない、言うこと聞きたくない！一回じゃ従わない！なんてこと、ありませんか？

神様の言葉を聞いたなら、本気で信じ、「すぐに」従う。これが、神様の望みです。

**いの祈り** 天のお父様、何回も何回も聞いたあと 従うのではなく、一回で「すぐに」従える心をください。

## 8月22日（木）



ヨナ 3・10

神は彼らのなすところ、その悪い道を離れたのを見られ、彼らの上に下そうと言われた災いを思いかえして、これをおやめになった。 10節

ニネベの人たちは、神様に滅ぼされなければならぬほど、深い罪と悪の中で生きていました。赦されなくて当たり前の人たちでしたが、悔い改めたので、神様は、滅ぼすのをやめ、ニネベを赦されたというのです。

わたしたちも、赦されなくて当たり前の人罪人。でも、イエス様を十字架につけられた神様は、イエス様を信じる信仰を見て、罪を赦し、滅びない者にしてくださるのです。

**いの祈り** 天のお父様、イエス様を十字架につけるほどの愛と 憐れみがわたしにも注がれていることを感謝します。

## 8月23日（金）



ヨナ 4・1～5

あなたの怒るのは、よいことであらうか。 4節

神様がニネベを滅ぼすのをやめたとき、ヨナは怒りくるって「死んだ方がましだ！！」って言ったみたい。どうして？

ヨナは、ニネベは滅ぼされた方がいいって思ってたのかもね。神様がそんな簡単に赦すはずがないって。それに、せっかく自分が神様の言われたように働いたのに、自分が伝えたこととちがうことがおきて気にいらなかったのかも。

あなたは神様の心をかんちがいしていませんか？神様は自分と同じ思いのはずだと思っていない？自分がどう思うかより、神様がどう思い、何をなされるかを大切にしてくださいね。

**いの祈り** 天のお父様、わたしが考えるよりも、あなたはもっと大きなお方です。あなたの思いやなされることを大切にします。

## 8月24日（土）



ヨナ 4・6～9

とうごまのためにあなたの怒るのはよくない。 9節

自分の大切にしているおもちゃやゲーム、本がこわれたとき、きつとあなたはすねたり泣いたりするよね？でも、あなたのまわりのお友だちが神様を知らないで地獄に向かっていることを、悲しんだり泣いたりしていますか？

神様はヨナに、とうごまの木を使って同じことを教えたかったんだね。ヨナは自分の役に立つとうごまが枯れたとき、すねて「死にたい」って怒ったけれど、ニネベの人たちは滅びてほしいうって思っていたでしょう？

本当に大切なのは、いつかなくなる命のないものではなく、神様に救われなきやいけないたくさんの命です。ね！

**いの祈り** 天のお父様、命のない物のためではなく、命のあるお友だちのために悲しめますように。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マタイ 3・13～17

神の心にかなう者

このように、すべての正しいことを成就するのは、われわれにふさわしいことである。3・15

目標

キリストが残された模範に従い、従順と謙遜をもって生きる。

8月25日（日）

聖書  
聖句

マタイ 3・15

このように、すべての正しいことを成就するのは、われわれにふさわしいことである。15節

イエス様はわたしたちのお手本先生なんだよ。神様がどんなことをわたしたちにしなさいと言っているか、どんなことをすれば喜ばれるかを、イエス様がみんなにわかるようにしてくれたんだ。

あなたは洗礼のことを考えたことはありますか？神様信じてるから、まだいいやなんて思ってますか？イエス様には罪はなかったけれど「罪を悔い改めたしるしに洗礼を受ける」というお手本になってくださいましたよ。

あなたもイエス様のお手本にしたがって、神様の喜ばれる子どもになってくださいね。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様のお手本にわたしもなっていていきますように。

8月26日（月）

聖書  
聖句

マタイ 3・13

イエスはガリラヤを出てヨルダン川に現れ、ヨハネのところにきて、バプテスマを受けようとされた。13節

イエス様は、伝道をはじめる前に洗礼を受けるため、ヨハネという人のところへ行きました。

ヨハネのおしごとは、救い主がくる前に、みんなが罪を悔い改めて、神様に心を向けるようにすることでした。イエス様がくるためのじゅんびだね。ユダヤ人には「洗礼なんか受けなくても救われる」とばかにする人もいたの。

でも本当はちがうね。イエス様は、それがどんなに大切な神様からのおしごとか教えようとしていてくれますね。

いのちの祈り

天のお父様、洗礼がとてもたいせつなものだということを教えてください。イエス様に感謝します。

8月27日（火）

聖書  
聖句

マタイ 3・14

わたしこそあなたからバプテスマを受けるはずなのに、あなたがわたしのところにおいでになるのですか。14節

人々はヨハネのことを「この人が救い主かも」って思っていたかな。でも、ヨハネは自分が救い主じゃないこと、イエス様こそ救い主で、すべての人がイエス様によって救われるといけない、ということを知っていました。

どんな人も、まわりの人からそんけいされたり大切にされたいでしょう。でも、あなたがほめられるとき、イエス様がそんけいされ、大切にされるのをじゃましているかもしれません。

あなたのことばと行いで、イエス様がほめられ、そんけいされ、大切にされますように！

いのちの祈り

天のお父様、イエス様がそんけいされるのをじゃますることがありませんように。

8月28日(水)

聖書  
聖句

マタイ 3・15

このように、すべての正しいことを成就するのは、われわれにふさわしいことである。 15節

罪のないイエス様が洗礼をうけるとき、どんな気もちだったか考えたことがありますか？

イエス様の人生の中でいちばん大きなおしごと、それはすべての人の罪を背負って、みんなの代わりに十字架につくことだったね。だから、悪魔とのたたかいに勝てる聖霊の力をもらって、罪のあるわたしたちの先頭に立っていきましょう！って決心して、洗礼を受けられたんだね。力強いイエス様が、わたしたち罪ある人間の先頭に立って、いっしょに歩いていってくださいから、わたしたちもしたがっていけるね！

いのちの祈り 天のお父様、イエス様の決心をありがとうございます。わたしもイエス様にしがって洗礼を受けたいです。

8月29日(木)

聖書  
聖句

マタイ 3・16

見よ、天が開け、神の御霊がはとのように自分の上に下ってくるのを、ごらんになった。 16節

イエス様に神様の霊が注がれるのを、見なさい！って言ってるね。まわりの人たちも見なかったなあ？

バプテスマのヨハネができるのは「罪の悔い改めのしるし」の、水のバプテスマだったね。

でも、イエス様はね、神様の霊をもっているお方。あなたに本当のバプテスマをさずけることができるたった一人のお方です。あなたの罪を滅ぼしつくし、あなたを新しく生まれ変わらせ、心の中に住むことができるお方なのです。

いのちの祈り 天のお父様、本当のバプテスマをさずけてくださるのはイエス様ただ一人だと信じます。

8月30日(金)

聖書  
聖句

マタイ 3・17

これはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である。 17節

「なにもそこまで…」と思うくらい、イエス様は低く、すなおな心で、よろこんで十字架に向かう道を歩まれたね。だからこそ、すべての人が罪から救われる、という道が開かれたんだ。

「これはわたしの愛する子」という神様の声はイエス様だけへの親子のしるし。わたしたち罪ある人間へのものではなかったんだ。

だけど、今はだれでもイエス様の十字架の救いを信じたときから、神様の子どもになって「あなたはわたしの愛する子」と、神様に呼ばれるんだよ。イエス様、ありがとう！

いのちの祈り 天のお父様、イエス様の救いで、わたしたちもあなたの子どもにしてください。ありがとうございます。

8月31日(土)

聖書  
聖句

ヨハネ 13・15

わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしは手本を示したのだ。 15節

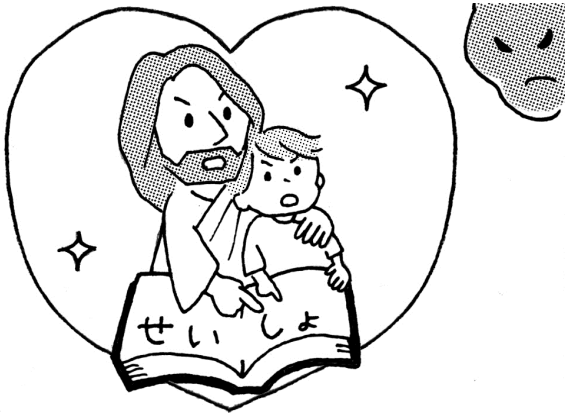
何か良いことをすると「エッヘン！どう？わたしを見て！ほめて！」ってなるのが人間。でも、神様のひとり子イエス様は、ほめられて当たりまえなのに、どれいのようになって、うらぎられても、苦しめられても、みんなを愛し、ゆるし、命をささげてくださったよ。

わたしたちが、イエス様みたいにすることはむずかしいけれど「イエス様ならこんなときどうするかなあ」っていつも思い出せたら、少しずつ、イエス様のくれた愛をだれかに分けてあげられるね。自分がほめられなくてもね。

いのちの祈り 天のお父様、いつもイエス様の愛を思いだして、愛の行いをできますように。



ラリーデー



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マタイ 4・1～11

退けるべき誘惑

サタンよ、退け。「主なるあなたの神を拝し、ただ神にのみ仕えよ」と書いてある。

マタイ 4・10

目標

悪魔からの様々は誘惑を御言葉によって退ける。

9月1日(日)

聖書  
聖句

マタイ 4・1～11

サタンよ、退け。「主なるあなたの神を拝し、ただ神にのみ仕えよ」と書いてある。 10節

さあ! きょうはラリー・ディです。振起日も言います。暑い夏の間、だれていた心と身体をひきしめて、振り起つ日です。いろんな誘惑を「ノー!」と言ってハネ返したり、サッと逃げたりして負けないようにします。ヘエーツ、イエス様も誘惑されたんだーと思いますか。そうです。誘惑されるってどういうことかよくわかってくださるため、またわたしたちがどうしたら誘惑に勝てるかの見本としてね。それは、「御言葉」によつての勝利でした!

いの祈り

天のお父様、イエス様はみ言葉を心にたくわえ、一つ一つのサタンからの誘惑をみ言葉で退けられたのを知りました。

9月2日(月)

聖書  
聖句

マタイ 4・1～2

そして、四十日四十夜、断食をし、そののち空腹になられた。 2節

「断食」ってしたことありますか? お医者さんで検査してもらう前とかに朝ごはんを食べないとか、朝と昼の食事をしないということです。えーっ! 一回でもごはん食べないと腹ペコになってしまうよーと思うでしょう。イエス様は四十日四十夜、何も食べなかったのです! そんなに長く食べないと、もうお腹はペコペコでしょう。わたしたちだったら絶対にまんできないでしょうね。イエス様は「人」としてそこまで空腹を経験してくださいました。

いの祈り

天のお父様、わたしたちが味わう一つ一つのことはイエス様も味わってくださったことを知って、感謝です。

9月3日(火)

聖書  
聖句

マタイ 4・3～4

「人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言で生きるものである」と書いてある。 4節

そこに「試みるもの」、すなわち、サタンとか悪魔とか呼ばれる者がやってきて言いました。「もしあなたが神の子であるなら、これらの石がパンになるように命じてごらん下さい」と。その瞬間、わたしたちだったら、すべての石がいろんなパンに見えるかも! でもイエス様は、旧約聖書の申命記を愛されて、よく読んでおられて、その中のみ言葉を言われました。今日のみ言葉です。ペコペコのお腹だったのに! み言葉でサタンを退けたのでした。

いの祈り

天のお父様、わたしも誘惑される時、イエス様のようにみ言葉で退けられるように、しっかり聖書を読みます。

## 9月4日（水）



マタイ 4・5～7

「主なるあなたの神を試みてはならない」とまた書いてある。 7節

聖書はどの書もすばらしいですが、イエス様は特に、申命記と詩篇を愛されました。新約聖書はまだなかったのです。あなたの大好きな所はどこですか？み言葉をたくさん心にしまっておりありますか？ここでは、なんとサタンも詩篇のみ言葉をもって誘惑してきたのです！宮の頂上から下へ飛びおりてごらんなさい。神の子であるなら、御使いたちが守り支えると書いてあります。でもイエス様はまた、きょうのみ言葉を言われて、サタンを退けたのでした。

いの

祈り 天のお父様、サタンは得意になるように誘ってきます。あなたを畏れてイエス様のように勝たせてください。

## 9月5日（木）



マタイ 4・8～10

サタンよ、退け。「主なるあなたの神を拝し、ただ神にのみ仕えよ」と書いてある」。 10節

サタンの誘惑はしつこいですよ。またまたイエス様を今度は高い山の頂上に連れて行って言いました。「もし、あなたがひれ伏してわたしを拝むなら目の下に広がる国々と栄華、すべてをあげよう」と。人はみんな欲深く、この世の富や権力に弱くて、ほしがるものです。でもイエス様はまた、申命記のみ言葉を、サタンに浴びせかけたのでした。ひれ伏し拝むべきお方は、そして、仕えるべきお方は主なる神おひとりだけだ、「サタンよ、退け」と。

いの

祈り 天のお父様、三度ともみ言葉でサタンを退けたイエス様はさすがです。しつこい誘惑にもそうして勝ちます。

## 9月6日（金）



マタイ 4・11

そこで、悪魔はイエスを離れ去り、そして、御使たちがいもとにきて仕えた。 11節

「悪魔はあらゆる試みをしつこくして、一時イエスを離れた」と、ルカ 4・13 には書かれています。イエス様にこてんぱんに退けられた悪魔は、もう二度とイエス様を誘惑しに来なかったのではありません！「一時イエスを離れた」だけで、そのあとも、十字架までも、やってきて、神様のご計画をこわそうとしたのです。ご用心！でもこの時、勝利したイエス様のみもとには、御使いたちがきてイエス様にお仕えになったのでした。美しいね。

いの

祈り 天のお父様、勝つ者に御使いをつかわしてくださり感謝です。それと共にサタンの誘惑にも注意して進みます。

## 9月7日（土）



ヤコブ 1・12～16

だれでも誘惑に会う場合、「この誘惑は、神からきたものだ」と言っ

はならない。 13節

何か失敗したり、ついつい罪を犯してしまったりする時、「あ、サタンにそそのかされちゃって」と、何でも、サタンのせいにする人もあります。また、「この誘惑は、神からきたものだ」と言う人もいます。ヤコブさんは、「そうではありませんよ、あなたが、欲に引かれてさそわ

いの

祈り 天のお父様、あなたはわたしに必要なすべてを与えていただきます。満足してあなたにお仕えしていきます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ 3・1～15

新生への招き

だれでも新しく生れなければ、神の国を見ることはできない。ヨハネ 3・3  
新生の必要を知り、キリストを信じて新生の恵みをいただく。

目標

9月8日（日）

聖書  
聖句

ヨハネ 3・1～15

だれでも、新しく生れなければ、神の国を見ることはできない。 3節

「赤ちゃんが生まれました！」ととてもうれしいニュースです。お母さん、ご苦労様ですね。そして、「不思議だなア、素晴らしいなア、新しい命の誕生」と思います。きょうのイエス様の言葉はもっと不思議で、もっと素晴らしいですよ。どんなにかわいい赤ちゃんも、教えなくても罪を犯す子どもになります。でもイエス様を信じて新しく生れると、心に清い命が与えられて、罪を犯さない人になります。さらに、何歳の人でも、新しく生れることができるのですから！

祈り 天のお父様、あなたの支配される清い神の国の命をいただくために、罪を悔い改めてイエス様を信じたいです。

9月9日（月）

聖書  
聖句

ヨハネ 3・1～2

パリサイ人のひとりで、その名をニコデモというユダヤ人の指導者があった。 1節

昼間、ニコデモさんを見る人たちには、「ああ、何て立派なお人だろう。ああいう人になりたいものだ」と、みんなから思われたり、言われたりしていたでしょう。そのニコデモさんが、夜、イエス様をたずねてきました。ニコデモさんは律法もよく知っていたし、物事もよくわかるリーダーでしたが、イエス様の内にある、自分にはないものに気づいたのでしょう。神様が共におられる不思議な力を感じたのでしょう。イエス様のもとに来るのは一番良いことです。

祈り 天のお父様、立派と思える人でも一番大切な神の国の命が必要です。イエス様を求め人々が起こされますように。

9月10日（火）

聖書  
聖句

ヨハネ 3・9

あなたがたは新しく生れなければならないと、わたしが言ったからとて、不思議に思うには及ばない。 7節

「だれでも新しく生れなければ」とか、「あなたがたは新しく生れなければならない」と聞くと、「エッ？人がわたしのようになを取って、また生れることがどうしてできますか？ もう一度、お母さんのお腹にはいつて生れることなどできないでしょう」とニコデモさんが言いましたが、私たちだってそう思ってしまいますよね。「それはちょうど風のようにです。どこから来てどこへ行くかわかりませんが、霊から生れる人もそうなのです」と言われても……。

祈り 天のお父様、ニコデモさんのようにわたしも全く同じで、「どういうこと？」とさっぱりわかりません。よく教えてください。

## 9月11日（水）

聖書  
聖句

ヨハネ 3・10～15

ちょうどモーセが荒野でへびを上げたように、人の子もまた上げられなければならない。 14節

首をひねっているニコデモさんに、イエス様は、モーセと荒野の蛇のことを話されました。旧約聖書にくわしいニコデモさんは、「ああ！」ってわかってきたのです。荒野でつぶやいて、火の蛇にかまれて、毒が回って死にそうな人々が、モーセがあげた青銅の蛇を仰いで見て、生きた！という話でした。「そうか、イエス様はあの青銅の蛇のように十字架にあげられるのか。そのイエス様を仰いで新しく生れ変わるのだ」とね。ニコデモは新しく生れたのです（ヨハネ 19・39）。

いのちの祈り 天のお父様、わからないわたしたちにもわかるように、霊の大切なことを教えてください。さることをありがとうございます。

## 9月12日（木）

聖書  
聖句

民数記 21・4～6

へびは民をかんだったので、イスラエルの民のうち、多くのものが死んだ。 6節

しんどくなったり、だるくなると、イスラエルの民はいつも神様とリーダーのモーセに、ぶつぶつ文句や不平をならべてました。あなたは大丈夫ですか？ せっかく与えられている天からのマナにも、「もうあきあきしました」って。全く、あきれてしまいます。神様は仕方なく、火のへびを民のうちに送られました。おお、恐ろしい！そのへびは民を次々にかんで、多くの民がバタバタ死んだのです。これは今も罪をもつて魂が死んでいる人々をさしているのです。

いのちの祈り 天のお父様、生れつきのままの人の姿がよくわかります。だれもみな、新しく生れなければならないのですね。

## 9月13日（金）

聖書  
聖句

民数記 21・7～9

すべてへびにかまれた者はその青銅のへびを仰いで見て生きた。 9節

まっ青になって、民はあわててモーセのところに行って叫びました。「モーセさん、そして神様、つぶやいて罪を犯してごめんなさい。モーセさん、どうぞ神様がへびをわたしたちから取り去られるよう祈ってください」。神様はモーセに、「青銅のへびをつくって、さおの上にかけるように、それを見て生きるように」と言われました。モーセがさおの上に掛けたその青銅のへびを、仰いで見た者は生きたのです。十字架のイエス様を仰いで新しく生れるのです。

いのちの祈り 天のお父様、あなたのみ言葉のとおり、十字架を仰ぐと、霊の働きで不思議に新しく生れることができること、感謝です。

## 9月14日（土）

聖書  
聖句

Ⅱコリント 5・17

だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。 17節

「だれでも」です。どんな人でもです。お年寄りも、壮年も婦人も、若い人も子どもも、貧しい人も富む人も、どこの国の人であっても、博士も普通の人も、大罪を犯した人でも、まじめと見える人でも、キリストにあるならば、その人は「新しく造られた者」なのです。つまり、キリストの十字架の前に罪をおわびし、身代わりの十字架を信じるならば、です。新しく清い命に生れ変わった者なのです。すべてが新しくなりました！

いのちの祈り 天のお父様、あなたの新しい命をいただくことこそ、すべての人にとって一番の幸せであることを信じます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ 4・4～26

生ける水への招き

わたしが与える水を飲む者は、  
いつまでも、かわくことがない。

ヨハネ 4・14

目標

罪を悔い改め、キリストを信じ  
て、喜びに満ちた生涯を送る。

9月15日(日)

聖書  
聖句

ヨハネ 4・1～19

わたしが与える水を飲む者は、いつ  
までも、かわくことがない。14節

「今年の夏はどうでしたか?」「やっぱり暑  
かったよ。飲んでも飲んでものどが渴いたよね」。  
ここで女の人が昼の暑い時に井戸からくんだ  
水も、「この水を飲む者はだれでも、またかわく  
であろう」と言われた水でした。ところが!「い  
つまでも、かわくことがない!」「そんな水が  
あるなら絶対、飲みたい!」と、この女の人ば  
かりでなく、私たちだって思います。それは、  
イエス様が与えてくださる水なのですね。その  
水について今週考えてみましょう。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様がくださる渴くこと  
のない水を知って、しっかり飲んで潤され  
るようにしてください。

9月16日(月)

聖書  
聖句

ヨハネ 4・15～19

イエスは女に言われた、「あなた  
の夫を呼びに行って、ここに連れ  
てきなさい」。16節

女の人はずぐに、「その水をわたしに下さ  
い」とイエス様に言いました。あなたがそこに  
いたら、やっぱり同じことを言ったでしょうね。  
するとイエス様は、女の人が隠しておきたい、  
言いたくないと思っている夫のことを、ズバリ  
言われたのです。女の方はビックリしたでしょ  
う。あなたにも隠しておきたい心の秘密があり  
ますか? イエス様は全部知っていてくださって、  
女の人の心やあなたの心を開いて、わき出る  
泉を与えたいと思っておられるのです。

いの  
祈り

天のお父様、かわくことのない水を飲む前  
に、心を開いて、きれいにさせていただか  
なければならないと知りました。

9月17日(火)

聖書  
聖句

ヨハネ 4・13～14

わたしが与える水は、その人のう  
ちで泉となり、永遠の命に至る  
水が、わきあがるであろう。

14節

イエス様の十字架から流れてくる、罪のゆる  
しの水なのだとわかりますね。この夏、キャン  
プで、イエス様の十字架が、この私の罪のため  
だったのだとはっきりとわかって、罪をおわび  
し、イエス様の身代わりの十字架を信じて救わ  
れたお友だちも、きつというと思います。あな  
たはどうですか? 罪がゆるされる喜び! そ  
れだけではありません。永遠の命、きよい神様  
の命、罪に勝つ命、たとひ死んでも必ずよみ  
がえる命が与えられたのですから、ハレルヤで  
す。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様が与えてくださる罪  
のゆるしの水をありがとうございます。  
喜びが心にあふれます。

## 9月18日（水）

聖書  
聖句

ヨハネ 4・23～26

イエスは女に言われた、「あなたと話をしているこのわたしが、それである」。 26節

「キリストと呼ばれるメシヤがこられたら、いっさいのことを知らせて下さるでしょう」と、女の人が言ったとき、「このわたしがメシヤだよ」とイエス様は女の人に答えました。イエス様とお会いするなんて、何という喜び！ イエス様とお話しできるなんて、何という喜び！ 私たちにも同じ喜びが与えられるのです。まずは、週の初めの日曜日の礼拝で、教会学校の礼拝で、み言葉を聞くと、心に覚えるとき、「ああ、イエス様！」って、お会いできるのです。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様が私に話そうと待っていてくださる礼拝に毎週励んで、しっかりお会いできますように。

## 9月19日（木）

聖書  
聖句

ヨハネ 4・27～30

わたしのしたことを何もかも、言いあてた人がいます。さあ、見にきてごらんなさい。 29節

この女の人の中に、イエス様からの水が注ぎこまれて、ほんとうに、泉がわきました。自分のことをみんな知ってもらえるという喜びの泉です。何でもわかってもらえて、そしてゆるしてもらっている安心と喜びと感謝の泉です。泉を見たことがありますか？ こんこんとわき出ていて、どんなにふさごうとしてもだめです。どんどん押し流し、わき出ます。女の人の中から、イエス様を伝える喜びの泉がわきあがり、あふれて出てきました。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様ご自身こそが、信じる私たちの心の泉なのだわかります。伝えないではられません。

## 9月20日（金）

聖書  
聖句

ヨハネ 15・7～11

わたしの愛のうちにいなさい。 9節

〈大海のように広い主の愛、山より高い主の愛は、私のような者を愛して神の子にしてください（ホーリネス・子どもさんびか 53 番）というさんびを歌ったことがありますか？ イエス様の愛について、ひとり静かに考えてみることは、とてもいいことです。父なる神様が子なるイエス様を愛されたように、イエス様も私たちを愛してくださっているということです。そのイエス様の愛のうちにいつもいると、イエス様の喜びがまた私たちのうちにも宿り、しかも満ちあふれてくるのです。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様を信じる喜びはまさに大海のようです。どんなことがあっても決して失くすことはありません。

## 9月21日（土）

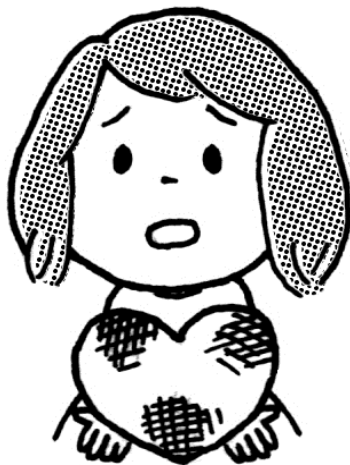
聖書  
聖句

ヨハネ 16・22～24

求めなさい、そうすれば、与えられるであろう。そして、あなたがたの喜びが満ちあふれるであろう。 24節

「ねえ、お父さん」、「ねえ、お母さん」で、あなたはよくおねだりしますか？ おねだりしたものがもらえたら、「ヤッター！」って、大喜びするでしょう？ 「わたしの名前によって、天の父なる神様にお祈りするの、同じですよ」とイエス様が言われます。「お祈りって、本当に楽しいし、わくわくするし、いつ神様からの答えがくるか楽しみだし、きっと与えられるから、求めなさい」と言ってくださっています。喜びが満ちあふれるのですから、祈りたいね。

いのちの祈り 天のお父様、私の心の中から、泉のようにお祈りもわき出ますように、そして、喜びが満ちあふれますように。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マルコ 1・14～15

神の国の福音

時は満ちた、神の国は近づいた。  
悔い改めて福音を信ぜよ。

マルコ 1・15

目標

悔い改めと信仰により、神の  
国の恵みに入る。

9月22日（日）

聖書  
聖句

マルコ 1・14～15

悔い改めて福音を信ぜよ。

15節

今日から、「キリストの教え」について学びます。イエス様が30歳になられて神の国の福音を伝え始められました。「時は満ちた、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と。あなたは人が死ぬとどうなるか、どこへ行くのか、知ってますか？ 重大問題ですね。イエス様は神の国を伝えに来てくださいました。神様の前に罪をおわびして、イエス様の十字架の身代わりを信じて、罪をゆるしてもらって神の国に入れるのです。死んだ後も永遠に。

祈り 天のお父様、永遠の神の国に入れる道を備えてくださり感謝します。悔い改めてイエス様を信じて入りたいです。

9月23日（月）

聖書  
聖句

マタイ 7・13～14

狭い門からはいれ。滅びにいたる門は大きく、その道は広い。そして、そこからは行って行く者が多い。

13節

「赤信号、みんなで渡ればこわくない」。この考えは滅びにつながる広い道で、大きな門です。みんながやってるから、と罪を犯し続けていれば、広い滅びへの道を歩いているのです。そんな人が多いとイエス様も言われます。でも「狭い門からはいれ」と招いておられます。それはどんな門かといえば悔い改めの門です。そしてそれは命にいたる大切な門です。命にいたる道は細いので歩くのも困難です。自分一人やと歩けるくらいかもしれません。

祈り 天のお父様、狭い悔い改めの門を通り、正しい道、命の道がどの道であるかを知って、しっかり歩ませてください。

9月24日（火）

聖書  
聖句

Iヨハネ 1・5～10

もし、わたしたちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる。

9節

悔い改めを、きちんとすることはとても大切です。それは、自分の罪を告白することです。それによって、自分がどんなに罪深い人間であるのかが、ハッキリとわからせてもらえるからです。そしてそんな私の罪を悲しんで、身代わりに十字架に死んでくださった救い主イエス様を仰ぐことです。それによって、「子よ、しっかりしなさい。あなたの罪はゆるされたのだ」と、真実な神様から罪のゆるしを宣言していただけます。

祈り 天のお父様、悔い改めることは恥ずかしい狭い門ですが、しっかり悔い改めて、全部ゆるしていただけますよう助けてください。

## 9月25日（水）

聖書  
聖句

I コリント 15・1～8

この福音によって救われるのである。  
2節

パウロ先生が伝えた「この福音」によって「救われるのである」と、力強く記しています。パウロ先生が最も大事なことで、コリントの人々に伝えたのは、自分自身も受けたことだったと言います。それは聖書に書いてあるとおり、キリストがわたしたちの罪のために死んだこと、葬られたこと、3日目によみがえったこと、そして現れてくださったことだと言っています。そうです。イエス様の十字架と復活ですね。あなたもこの福音を信じていますか？

いの  
祈り

天のお父様、イエス様の十字架と復活の福音こそ、すべてのすべてです。信じる人が救われることを感謝します。

## 9月26日（木）

聖書  
聖句

ローマ 1・16～17

わたしは福音を恥としない。それは、ユダヤ人をはじめ、ギリシヤ人にも、すべて信じる者に、救いを得させる神の力である。  
16節

「イエス様のことや教会のこととか、お友達には恥ずかしくて言えないな」と思いますか？ とんでもない！と返事をするのはパウロ先生です。「わたしは福音を恥としない」。イエス様のすばらしい救いのグッド・ニュースです。ニュースはどんどん伝えるべきです。しかもこの福音、このグッド・ニュースとえば、これを信じるならば救われるというのですから！ユダヤ人、ギリシヤ人、全世界の人々の救いの福音です。

いの  
祈り

天のお父様、本当に福音の力の大きいことを思います。多くの人の人生を変えてきたこの福音を伝えたいです。

## 9月27日（金）

聖書  
聖句

エペソ 2・1～10

あなたがたの救われたのは、実に、恵みにより、信仰によるのである。  
8節

私たちはみんなオギャーと生れたままだったら、罪の中に死んでいる者です。自分で自分を罪から救えないし、罪深い自分を変えることもできません。神様はそんな私たちをかわいそうに思ってください、イエス様をおつかわしくださって、滅びの川から救い上げてくださいました。ただ一方的な神様の大きな愛とあわれみと恵みによって。その救い主イエス様をただ信じて、イエス様と共によみがえらせていただいたのです。感謝あるのみ。

いの  
祈り

天のお父様、あなたの変わらない愛とあわれみと恵みを感謝します。信仰によって救われました。信じ続けます。

## 9月28日（土）

聖書  
聖句

Ⅱ テモテ 2・8～13

ダビデの子孫として生れ、死人のうちからよみがえったイエス・キリストを、いつも思っていなさい。これがわたしの福音である。  
8節

あなたはよくお手紙を書きますか？ もし、今から書く手紙が、地上での最後のお手紙だとしたら、何を書くでしょうね？！パウロ先生が地上最後のお手紙を、愛する息子のような弟子のテモテに書きました。「イエス・キリストをいつも思っていなさい。これがわたしの福音である」でした！テモテはしっかり心に刻んで、いつも、何をする時も、イエス様のことを思っていたことでしょう。私たちもそうしたいですね。

いの  
祈り

天のお父様、毎日いろいろなできごとがありますが、いつもイエス様のことを思っていることができますように。



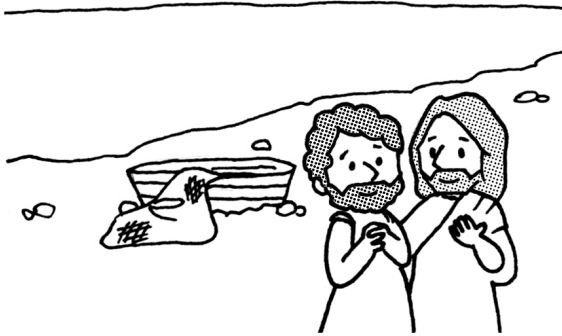
9月29日(日)

聖書  
聖句

ルカ 5・1～11

そこで彼は舟を陸に引き上げ、いっ  
さいを捨ててイエスに従った。

11節



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ルカ 5・1～11

キリストの弟子として

そこで彼らは舟を陸に引き上  
げ、いっさいを捨ててイエス  
に従った。

ルカ 5・11

自分の無力と罪深さを覚え、キ  
リストに従う者となる。

目標

漁師さんたちとは、何をする人たちでしょう？  
ハイ、お魚を取る人たちです。その通り！とこ  
ろが、このゲネサレ湖畔で漁をしていた漁師さ  
んたちは夜通し働いたのに、何も、一匹の魚も  
とれなかったのです。お手上げ状態でした。と  
ころがイエス様のひとこと、「沖へこぎ出して、  
網をおろして漁をしてみなさい」の通りにした  
ら…オーツ、大漁！「人間をとる漁師になるの  
だ」とまたイエス様から言われて、漁師さんた  
ちはイエス様に従いました。

いの  
祈り

天のお父様、漁師たちは何と素晴らしいお  
方に出会ったことでしょうか！わたしも彼ら  
のように主に従います。

9月30日(月)

聖書  
聖句

ルカ 5・1～2

漁師たちは、舟からおりて網を洗っ  
ていた。

2節

「アーラ！いい所でお会いしましたねエ」つ  
て、人との出会いというのは決して自分で計画  
したり、計算して与えられるものではありません  
ね。イエス様のお話が聴きたくて聴きたくて、  
群衆、そう、たくさんの人々がイエス様のところ  
に押し寄せてきたのでした。ついにゲネサレ  
の湖畔まで！ちょうどそこに二そうの小舟が  
あって、漁師たちは、舟からおりて網を洗って  
いるところでした。イエス様との感動的な出会  
いが目の前だとは全然知らないで！

いの  
祈り

天のお父様、素晴らしい出会いはいつも普  
通の毎日の中で与えられるのがわかり、一  
日一日がとても楽しみです。

10月1日(火)

聖書  
聖句

ルカ 5・3

シモンに頼んで岸から少しこぎ出  
させ、そしてすわって、舟の中か  
ら群衆にお教えになった。

3節

二そうの小舟の持ち主のひとり、シモンで  
した。イエス様は、群衆が押し寄せて来るので、  
ついにその一そうの小舟、シモンの小舟に乗り  
込まれたのです。シモンは押し寄せる群衆にま  
ず驚き、次にイエス様がシモンの舟に乗り込ん  
でこられたのにも目を丸くしたでしょう。おま  
けに岸に少しこぎ出してほしいと頼まれて、ま  
たビックリだったでしょう。その中からイエス  
様はどんなにか大声でお話されたことでしょう  
か。一体何を話されたのでしょうかね！

いの  
祈り

天のお父様、シモンにとっては、思いもか  
けない、突然のイエス様との出会いでし  
た。イエス様との出会いを感謝します。

# 10月2日(水)

聖書  
聖句

ルカ 5・4～5

しかし、お言葉ですから、網をおろしてみましよう。 5節

いよいよイエス様のお話も終わりとなりました。するとイエス様はシモンに向かって、「沖へこぎ出し、網をおろして漁をしてみなさい」と言われます。シモンの頭の中は、「???」イエス様は時々、小さなわたしたちの脳みそやハートではわからないと思われることを言われます。シモンはどう答えたでしょう? 「先生、漁師のわたしたちが夜通し働いたのに一匹も取れなかったのですよ…でもあなたのお言葉ですから網をおろしてみます」と。

いの祈り 天のお父様、あなたやイエス様が言われることがわからない時も、あなたのお言葉を大切に思い従ってみます。

# 10月3日(木)

聖書  
聖句

ルカ 5・6～7

そしてそのとおりにしたところ、おびただしい魚の群れがはいって、網が破れそうになった。 6節

「スゴイ!!」イエス様が言われたとおりにしたのです。するとどうでしょう! 「おびただしい魚の群れ」が網の中にとびこんできたではありませんか! 「君たち、今までどこにいたの!」って言いたいくらい。網が破れそうになりましたが、破れなかったのです。きっとシモンや他の漁師さんたちのハートも驚きと感激で破れそうになったかも! そうなのです。イエス様のお言葉をそのままに受け取って、信じて従うとこんな奇跡が起こるのです。

いの祈り 天のお父様、「そのとおりにしたところ」とのみ言葉をモットーに、いつでもどこでもどんなことでも従います。

# 10月4日(金)

聖書  
聖句

ルカ 5・8～9

主よ、わたしから離れてください。わたしは罪深い者です。 8節

「HELP!(助けて!)」と、シモンは、魚があまりに多くて、一そうの小舟だけではとても岸まで運べないのもう一そうの舟に来るよう頼みました。そうして二そうの舟にいっぱい引き上げて入れると舟が沈みそうになったのです! そんな超大漁でした! それをみたシモンの心の中に、自分がイエス様の前にどんなにか力のない弱い汚れた罪人なのかハッキリと示されたのです。イエス様のひざもとにひれ伏して告白しました。この心が、実は一番神様に喜ばれる心なのですね。

いの祈り 天のお父様、あなたのお言葉の力の前に、わたしも自分の罪深さを悟ってひれ伏し、ますます従わせてください。

# 10月5日(土)

聖書  
聖句

ルカ 5・10～11

恐れることはない。今からあなたは人間をとる漁師になるのだ。 10節

もちろん、そう思ったのはシモンだけではありませんでした。ゼベダイの二人の子ら、ヤコブとヨハネも同じでした。すると、イエス様はシモンに言われたのです、「恐れることはない。今からあなたは人間をとる漁師になるのだ」と。『人間をとる漁師』とは、罪深く、滅びゆくこの世の海の中から人々を救い出して、天の御国の民とする、この地上で最高最大の漁師です。シモンはもちろんのことヤコブもヨハネもすべてを捨てて主に従いました。

いの祈り 天のお父様、わたしも、「救うためにおいでくださったイエス様」に従って人々の救いのためのお手伝いをさせてください。